第１７回市民自治推進委員会　育み部会会議録

（敬称略）

◆ 開催日時：平成２９年１０月３０日（月）　１７：３０～

◆ 開催場所：登別市役所２階　第１委員会室

◆ 出席部会員：部会長　　安宅　錦也

副部会長　川村　正勝

 　　　　　　　部会員　　仲川　弘誓

　　　　　　　　　　　　 合田　美津子

　　　　　　　　　　　　 磯田　大治

　　　　　　　　　　　　 佐藤　文子

橋場　太 （協働推進庁内委員会部会長）

【教育部次長】

　安部　直也（協働推進庁内委員会副部会長）

【教育部社会教育Ｇ総括主幹】

◆ その他：室蘭工業大学　准教授　真境名　達哉

◆ 事務局：　　　　　笠井　康之【市民生活部市民協働グループ総括主幹】

野畑　衣里子【市民生活部市民協働グループ主任】

◆ 議題：のびのび公園（若草町）の利活用について

**≪部会長≫**

本日は、室蘭工業大学から真境名達哉准教授にお越しいただきました。

これから公園の利用に関して色々とご助言をいただきたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

**≪事務局≫**

今月２４日に開催されました、第５回部会長・副部会長会議の概要を説明した後、部会長に引き継ぎたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

部会長・副部会長会議で情報提供した資料をお手元に配付しております。

Ａ３横の資料をご覧ください。

この資料は、前回の部会長・副部会長会議で配付したものをベースとし、「現在の取組内容」欄を最新の状況に更新しているのと、各部会の中で協議し、平成３０年度の取組に必要な予算として要求している内容を「取組に係る必要予算」欄に記載しております。

会議では、各部会の『健康』に関する取り組みの進捗状況の確認及び情報共有を図りました。

併せて、一部の自治推進委員をはじめ、その他色々な方面から、「健康に関する取り組みは、今後どうしていくのか」ですとか、「続けるのか、やめるのか、又は違う新しいテーマを設けるのか」などといったご意見を聞くようになり、まずは部会長・副部会長会議で一度、『健康』というテーマの方向性の確認を行い、各部会等で協議していただくということで、一番右の「今後の方針・予定」欄を空欄としております。

　『健康』に関する取り組みは、例えば料理教室や健康座談会など、既に取り組みを実施している部会もあれば、ウオーキングマップ更新後に取り組みを検討している部会もあるなど、進捗状況は各部会でまちまちであることから、現段階では『健康』に関するテーマについて、統一したゴールは定めず、各部会、必要な取り組みは継続しつつ、登別市まちづくり基本条例で定める、市民自治の推進や市民と市の協働のあり方や市の進める事務・事業等について協議していくこととしました。

また、市の企画調整グループから、第３期基本計画・第１次実施計画における進捗状況について、８月頃文書にて報告と意見照会があったことを受けて、まずは部会長・副部会長会議で内容等について直接説明してもらい、必要に応じて各部会においても説明をして欲しい、といった要望もありました。

次に、ホッチキス止めされている、「広報８月号」と書いてある資料ですが、これまでの部会長・副部会長会議でも、市民自治推進委員会の取り組みを市民に知ってもらうため、年に１度くらいは広報紙で周知した方が良いのでは、という意見があったことから、広報８月号に掲載したものを参考にお配りしました。

続きまして、両面刷りの新聞記事をご覧ください。

１０月１３日付けの記事では、市民自治推進委員会の活動に関する説明、裏面の記事では、まちづくり部会が取り組む「健康座談会」について紹介されましたので、のち程ご覧いただければと思います。

最後に、Ａ３縦の記事、受動喫煙の防止関連についてであります。

道の受動喫煙防止条例の動きに合わせ、登別でも受動喫煙防止を進めていく必要があり、市民自治推進委員会においても逐次、情報提供していくこととしておりました。

この記事は、北海道がん対策「六位一体」協議会が、北海道がんサミットでまとめた要望を北海道や札幌市等に手渡し、施策を実現するよう要望する、という内容のもので、１１項目に渡る要望内容となっております。

こちらについても、のち程、ご覧いただければと思います。

事務局からの説明は以上になりますが、部会長副部会長、委員長副委員長も出席されていましたので、補足があればお願いします。

それでは部会長よろしくお願いします。

**≪部会長≫**

　部会長・副部会長会議の中で、今お話にあったような確認をしております。それを受けて、育み部会としては、前回の部会の時に確認したように、以前のアンケート結果を基にしてのびのび公園の利活用について今後どうしていくかという部分を、再度アンケート調査を実施する場合の調査項目等について話し合い出来ればと思いますのでよろしくお願いいたします。

　鷲別中学校と若草小学校ののびのび公園の利用に関するアンケート結果の自由記述の分は、それぞれ委員の皆さんに送付されていると思います。

　それらを参考にしながら、どんな方向で今後アンケートを取っていけば良いのか、また、利活用していけば良いのかということを今日協議させていただければと思います。

　また、専門家の立場からご助言をいただければ有難いと思いますのでよろしくお願いいたします。

　まず、自由記述の部分ですが、アスレチックがほしいという意見が多いようですね。

**≪副部会長≫**

　夜になって、キャッチボールというかボールを使っている子どもを見受けます。禁止にはなっているけれどもやはり球技というか、小さい子がいない時間帯はボールが使われているので、そういう面をもう少し伸ばしていく形の方が利用される率が多くなるのではないかなという感じがします。

**≪部会長≫**

　私が休日に見たときは、親子でキャッチボールをしていました。

　やはり広い場所で、周りに人がいなければ使用しても良いのかなと思って見ていました。

**≪部会員≫**

　人口の割合を出してもらった資料を見ても、だいたいこの公園の周りには７千人くらい人がいますよね。ただ、６５歳以上が２,５００人くらいいます。

場合によっては、高齢者の公園の方が良いのかもしれません。

**≪部会長≫**

　以前のアンケートは小中学生、幼稚園保育所の保護者を対象としたものなので、どうしても子どもに偏っています。

どちらかというと、高齢者というより町内会の方々のアンケートにすると、ニーズが出てくるかもしれないです。

**≪部会員≫**

やはり、雑草のことや草刈りについては問題になっているのが明らかだということと、ボールの使用を認めてほしいというのは、相当ニーズはあると思いますので、こういうところを注意してすくい上げていく方法を考えれば良いかなと思います。

それと、この間の話の中で出ていたように、大まかな押さえとしては、特色ある多目的公園化というのは最終的な、何となく皆が合意できたようなイメージでしたが、町内会や広域で使うことを考えていけば、町内会からもアンケートを取る必要はありますが、設問の問題も含めて、今日はそこら辺の話し合いをすれば良いのかなと思います。

大人のニーズを調査した方が良いのではないかなと思います。

また、この地域は優和園が尊重される地域であるならば、優和園とは切り離して差別化をどうする等その辺を盛り込んだアンケートにしてほしいなと思います。

**≪部会員≫**

　話し合いのゴールをもう少し整理した方が良いと思いませんか。

　個人的に何処に向かって行ったら良いのかわからなくなってしまいました。

**≪部会員≫**

　それもあって今日は真境名先生にお越しいただいたので、登別で最も人口が集中している場所に、普通の町の中では１、２を争う広い公園があって、ほとんど使われていない。それを地域の方々に利用してもらう公園にしていけないか。その時に、どのような取り組みや情報を元にどのような提案をしていけば良いのかを考えていて、提案するための一つの資料として小中学生等にアンケートをとらせてもらいました。

**≪部会員≫**

　私たちは、最初の目的を「健康」というテーマで公園に入り口を見つけてそこから問題を探ろうとしてきました。

基本的には特色ある多目的公園にするためにどうするかとういことについては、なんとなくイメージできていましたが、以前も話しましたが今登別市の中だけでも公園が沢山あり、それぞれの公園が利用されているのか、財政的な問題も含めた公園のあり方という問題と背中合わせのテーマだと思いますので、ここのところが語られないまま議論しても片手落ちだなと思います。

たまたま国の施策を見ているとどこの自治体も公園や公共施設の管理が難しくなってきているようです。

維持管理が重荷になってきているとのことで、そういった中で公園のスリム化や省略化、拠点化を変える等、そのように動いていくのに私たちは健康だけを特化して話をして良いのかという疑問があります。

登別市の財源の問題と絡めてテーマを進めていかないと、行き先が見えなくなるなとずっと思っています。

きちんと背景を絞り込んだうえで議論をしていかないと、ただ理想論で若草の公園だけに絞ってという話では無いと疑問に思っていました。

**≪部会員≫**

　今お話にあったように、私たちは公園に係る整備費等にすごい無駄があり、ほとんど使われていない公園にもお金が掛かっている。

人口が多い時に造られた公園も、今は人口が減ってきているのに同じ数の公園を維持していくのか、そういう部分を考えていかなくてはならないうえで、まずは利用できる公園を使って維持管理費を使い、モデルができれば、今度は要らない公園を提案していく。そういう事をしないと、何も提案できません。

地域の方は、公園を無くすというと反対すると思います。やはり、なぜというのを作るための１つの手段として先行事例を作っていく。それをしていかないと無駄な維持費というのは削減できません。公園の数も減らしていって良いと思います。

**≪真境名准教授≫**

　私は、いまいちまだ理解していないのかもしれませんが、今のお話を聞きますと、過去の資料にもありましたが、都市公園は都市計画で決まっているので廃止等はすぐにできるような話ではないと思います。

ゆくゆくはそういうのも含めて廃止というか整理するということですね。

話としては、コストの話がメインになっていますね。公園は、そもそもそんなに利用されていないと思いますので、こんなもんだと言えばこんなもんなのかなと思います。

そして確かに市も管理できない。せいぜい年に２、３回草刈りをして後は草が生い茂っている。そうすると益々住民も遊びに来なくて、みすぼらしい印象だけが残ります。

室蘭市の場合は、住民が管理しており、町会内で管理してくれる人がいるのですがコストパフォーマンスとしては見えにくいです。

非常に期待をし過ぎると、そんな風でも無いですし、防災の避難所にもなるかなくらいで良いでしょうし、一方で室蘭市にいると若草町は室蘭市役所の人からすると、室蘭市から人口が逃げていくという人気のある場所なので、ここを１つ目玉にして地域おこしというかそういうふうにすると、色々な話が出てくると思います。

**≪部会長≫**

結局、コストの部分も出てきましたが、健康をテーマにスタートしたので、市内の公園を健康のために活用できるようにするにはどうしたら良いかというのが始まりでした。

そして、今の公園がどのように活用されているのかということで、小中学生、幼稚園保育所の保護者の方にアンケートを行いました。そのアンケート結果を基にして子ども達が活用している公園、あまり活用されていない公園について、結果から分析をしました。

例えば登別市でいうと川上公園という大きな公園があり、富岸公園もありますが、若草周辺は大きな公園がなく、若草中央公園とのびのび公園を一体的に使えばより健康的な場所として活用できるのではないか、という部分がスタートでした。

それで、一応モデルとしてのびのび公園を特色ある多目的公園という形で地域の方々も含めて活用できる公園にできないかという部分を今探っていたところです。

**≪部会員≫**

公園で遊んでくれれば健康に繋がるという考えです。

また、健康を維持するためには何らかの体を動かすことが必要で、ウオーキング等が流行っていますが、どこの町内会にも公園はあるので、それを健康づくりに使ってもらい、公園をもっと有効に利用してもらえれば健康づくりに繋がるのではということから、アンケートを実施させてもらい、その中で、あまり利用されていない公園もあり、でも遊具施設があって十数年に１回は多額のお金を掛けて整備をしている。ほとんど使われていないトイレもあって、そこにも維持管理費が掛かっている。それにまず、お金を掛ける必要性があるのか、若しくは、住民も地域によっては高齢者がほとんどだったり、その地域の公園に遊具施設があったり、防災等の避難所を考えるのであれば広場があれば良いと思うし、逆に言えば、もっと遊具施設の必要な公園に遊具施設の経費を回したりするなど、有効な使い方を考えていきましょうということです。

全部の公園を一度に考えることは難しいので、一番人口の減る率の少ない場所の公園ということで考えてきました。

私達だけでは良いアイデアも浮かんでこないので室工大の先生や学生さんのアイデアもほしいと思いお越しいただきました。

**≪真境名准教授≫**

都市計画的に見ると、若草中央公園とバッティングセンターの縦のラインはすごく魅力的ですね。

**≪部会員≫**

　町内会の方々にもアンケートをとろうと思いましたが、ほとんど出てこなかったり、思いつきのことしか出てこないだろうということで、それであれば我々の案を出して、それに対して反応をもらった方が良いのではないかなと思いました。

**≪真境名准教授≫**

若草中央公園というのはスポーツ系か何かというふうに意識されているのですか。

**≪部会長≫**

　それはないと思います。

**≪真境名准教授≫**

非常に形態的な特徴としては、せっちょう面が長いなと思います、

　アクセスしやすいのですが、のびのび公園は道道を走っていると、どこを曲がれば良いかわからないので、のびのび公園よりは、若草中央公園を目印にして、そこの延長に何かあるというふうにした方が、車利用者からすると、非常にわかりやすいかなと思います。

　ストーリーを作るのであれば、若草中央公園からスタートして、例えばアスレチック器具を点在させて、ゴールがのびのび公園という感じにする。また、街区公園なので、周りに駐車場はないですし、若草中央公園も路上駐車していますね。

**≪部会長≫**

若草つどいセンターに駐車スペースはありますが、この部分だけでは吸収できないので、のびのび公園の一部を駐車場にすれば結構駐車できると思います。

実際、若草中央公園での祭りの際も、のびのび公園が駐車場になっています。

**≪真境名准教授≫**

本来的には街区公園ですが、全市的な取り組みを考えるのであれば、若草中央公園との絡みがひとつはあるのかなと思います。

全市的ではなくても、若草エリアを考えるのであればそういうのを手掛かりに、また、車で来られる方の対応も考えなくてはいけないので、なかなか難しいかもしれないですね。

あと、のびのび公園の周りには柵がありますよね。若草中央公園は柵が無いので、利用率が高いと思います。管理上はわかるのですが、お金を掛けて柵をして、人が来ないという感じなので、若草中央公園の良さを考えるとハード的に改善するところもあるのかなと思います。

**≪部会長≫**

我々が当初考えていたのは、ここはとても広い公園なので、ボール遊び等ができるように、周りにフェンスを立てて、のびのび遊べるということも考えていました。

**≪部会員≫**

　サッカー場や野球場ではなく、キャッチボール程度やシュートの練習等ができるようなことを考えていました。

**≪部会長≫**

富岸小学校の前に富岸公園があり、富岸町の奥の方に亀田記念公園があって、富岸公園は子ども達の集いの場所になっており、大人の方々は亀田記念公園へ散歩に行き、自然豊かな場所なので沢山の方が利用しています。

**≪真境名准教授≫**

　スポーツ施設等のニーズがあるならば、健康というキーワードで、先程の亀田記念公園というのは室蘭市民も利用する有名な公園なので、割と総合的な公園は亀田記念公園で、富岸公園は子どもの遊び、スポーツ系はのびのび公園というように、それぞれ性格付けをするというふうにできれば良いかもしれないですね。都市計画っぽい話になりますが。

**≪部会員≫**

　そうしていきたいのです。

**≪庁内委員≫**

スポーツ系でいえば、幌別地区に野球場やパークゴルフ、テニス等かたまっている地区があります。

　こちらに来ると何もない。あっても亀田記念公園が一番大きい公園になります。

**≪真境名准教授≫**

　そこら辺でキャラクターのある公園や、あるいは魅力のある公園にする。利便性の高い所に人が集まるのは明確です。

**≪庁内委員≫**

のびのび公園は広いといっても5,500㎡しかないのです。

そこに集客をするとなると、色々な部分で足りないものの話になります。

ここの部会では話しているのは、若草中央公園と一体でできれば良いなという話をしています。

**≪部会長≫**

　先ほどの先生のお話にあったように、若草中央公園から順番にテーマを決めて最終的にのびのび公園がゴールというような、そんなテーマ性のある公園づくりというのも一つの方法かなと思いました。

**≪真境名准教授≫**

　良いのではないでしょうか。伸び代があるというか、スケールも大きくなってくるので、あっという間に都市的規模なメッセージになると思います。

　あと、お年寄りの方のという意味では、話に出たかもしれませんが、畑みたいな感じにして、スポーツだけが健康ではないので、土をいじるだけでも健康になると思います。

**≪部会員≫**

　以前話に出ましたが、畑はダメだと言われました。

**≪庁内委員≫**

　優和園の話が出ましたが、ここの町内会は、自分達で手づくりした公園が側にあり、その隣には憩の家という集会施設があるので、のびのび公園には寄ってこないのかなと思います。

**≪真境名准教授≫**

　優和公園や若草中央公園の魅力分析みたいのをして、その仕組みをのびのび公園に入れてあげると終着できるかもしれないですね。

**≪部会員≫**

それに対して今後どのように動いて行ったら良いでしょうか。

事例等参考になるものがあれば教えていただきたい。

**≪真境名准教授≫**

　行政頼みというのは無理だと思いますので、協力を得られそうな仕組みというのはあるのでしょうか。

**≪庁内委員≫**

　5,500㎡で街区公園といえば広いかもしれませんが、近隣公園にすると狭いので、何かをやるにしては大きさが中途半端ですね。

　区画整理で広げた地域なので、あちらこちらに公園はあります。

　絵をかく前にやることと言えば、地域の声を聴くことになるのでしょうか。

**≪真境名准教授≫**

　出し方ですよね。

**≪部会員≫**

地域の声は挙がってきますか。

**≪真境名准教授≫**

　子育て世代は子育て世代のニーズがあるでしょうし、町内会は町内会のニーズがあり、特に外に出ない方を外へ出すことの仕組みを考える等話題が違ってきますので、振り方もそうだと思いますが、スポーツ系になるともう少し広いエリアで聞くことも大事ではないかと思います。

出すと直ぐに反響もあると思うので、出し方も難しいですね。

**≪部会員≫**

　やはり優和園との差別化ですよね。

　優和園がすごく親しまれて使われているから、優和園は高齢者向けで、のびのび公園は若い層で良いのではないですか。

**≪部会員≫**

優和園はなぜそんなに高齢者が使用しているのですか。

**≪庁内委員≫**

　自分達で整備したので思い入れがあるのだと思います。

**≪部会員≫**

　整備費も自分達で少しずつ出し合っていたと思います。

**≪真境名准教授≫**

巻き込み方も大事だと思いますね。

年代ごとに作った方が良いかもしれないですね。

**≪部会長≫**

　今の話を受けて考えるとしたら、優和園については利用されているので、のびのび公園を新しい世代の公園として整備するのはどうでしょうということで町内会の方とざっくばらんに話をしてみることがあってもよいですかね。

**≪真境名准教授≫**

ＰＴＡの方や、お子さんがスポーツをやっている親御さん達で考えてもらい、その代わり管理もしてもらいますというふうに言って、ＹＥＳという人がいるかもしれないので、そういうプッシュの仕方もあるのかなと思います。

優和園もとても気になるので、ここの町内会の意識はどんな感じなのかなと思います。

ＰＴＡを筆頭にここの地域の人でないとだめなので、ここに住んでいる方の関わり方を必ずケアしないといけないと思います。

**≪部会員≫**

　磯田委員がスポーツ少年団等も把握していると思いますので、確実なニーズかもしれないですね。

　本日は途中退席されましたので、事務局から確認してもらえますか。

**≪部会員≫**

　これまでにない競技に特化すると新しい人が関わってくれるのではないですか。

**≪真境名准教授≫**

　もしできるのであれば、定期借地権で１０年間は貸せるよとすると、スポーツ協会がお金を出すかはわかりませんが、永遠に続くというイメージではないので、そういう方法もあるかなと思います。

　ニーズの掘り起こしというか調査と行政の考えもありますが、箱の一部を安く作ったらあとの管理は１０年間やってくださいというような感じにするなど、スポーツ協会等とも話をしたいなと思います。

　仕掛け方によっては出てくると思うし、仕掛け方によっては失敗するかもしれないですね。整備したはいいけど使わないということもあるかもしれないので。

また、のびのび公園だけではなくて、ウオーキングをしながら気が向いたら若草中央公園に行くなど、トータルの現象があってこのプロジェクトが成功するのかなと思います。

**≪部会員≫**

そうしたいのです。

そのためのアイデアがほしいです。

**≪真境名准教授≫**

　そうなると引き込みも大事ですし、ワークショップをするのも良いかもしれません。

**≪部会長≫**

　ただ、育み部会の想いだけで、地域住民がどのように思っているのかわからないのです。

　若草中央公園は結構利用されている公園なので、その使途を変えると地域住民の方の了解は得られないかもしれないです。

　１年に１度盛大なお祭りもあるので、地域の方の想いもトータルで考えたとき、どのようなアクセスが必要なのかすごく迷っています。

**≪真境名准教授≫**

若草中央公園が使われているのは非常に良い事だと思いますので、これをやることによって、より使われるようにするというメッセージを入れれば良いような気がします。

**≪部会員≫**

　ワークショップをやるとすれば、室工大の学生に入ってもらうことは可能ですか。

**≪真境名准教授≫**

可能だと思います。

一方で、スポーツ協会の方にヒアリングをしてこういう条件だったらどう使いますかというような、使うならお金を出してというのを含めてヒアリングする等しても良いです。

箱を作るといっても、何億も掛けて立派な物をつくるのではなく、せいぜいアスレチック程度の物のような気がしますし、都市計画的にはこの場所はこういうことなのだよということを、マップを作って示したり、そういう意識改革だけでも一つの成果、中間のゴールにしても良いのかなと思います。

**≪部会員≫**

ワークショップはやった方が良いと思います。

ただ、ワークショップをやるにはそれなりの資料が無いとダメだと思います。

**≪庁内委員≫**

健康という視点がぼやけてしまって、ただ使えば良いという話に聞こえます。

そこを明確にする必要があると思います。

**≪真境名准教授≫**

　健康というワークショップをするのであれば、健康という名目で、みんなでバスで行って歩いてみて使えそうなものを拾う、そのゴールがのびのび公園という持っていき方はできると思います。難しいと思いますが。

**≪庁内委員≫**

優和園の利用者と分けて対処しないといけないと思います。

**≪真境名准教授≫**

　それはきちんとした調査を、なぜあんなに盛り上がっているのかという事を分析しておかないとダメですね。

**≪部会長≫**

本日頂いた意見を参考にしながら次回はどんな形で地域住民やＰＴＡの方にアンケートをとっていくかという部分で、どういう選択肢というか質問を出し合ってみますか。

**≪部会員≫**

　対象は。

**≪部会員≫**

　地域住民（町内会）、子育て世代のＰＴＡ、スポーツ関係をターゲットに絞りアンケートをとらせてもらう。

　この中に優和園の部分を入れることができれば良いですかね。

**≪部会員≫**

　優和園の現状を教えてもらえれば良いですね。

**≪部会長≫**

　次回は、今色々ご意見をいただいた分を取りまとめて、実際にどんなアンケートにしていくかという部分で進めさせてもらって良いですか。

　また、次回は部会でのみ話をし、真境名先生には出来上がってからまた来ていただくということでよろしいですね。

　それまでにそれぞれアンケートの中に取り入れたいことがありましたら考えてきてください。

【次回の取り組みについて】

　どのようなアンケートにしていくかということについて協議する。

【次回会議について】

平成２９年１１月２７日（月）１７時３０分から